

環境に係る情報協議会 国営緊急農地再編整備事業 大雪東川第一地区

1. 事業の概要

◆事業の目的

本地区は、水田のほ場区画の大半が30a区画と小さく、かつ農地の分散が進み、効率的な営農の展開が妨げられ、更に農業者が減少すると予想される中で、将来的には生産基盤が遊休化されることが懸念されている。

このため、本事業により現状の30a区画のほ場を大区画化によって生産性の向上と生産コストの大幅な低減を図り、食料自給率の向上、農業生産額の拡大を中心とした地域活性化に資することを目的としている。

◆受益面積 1, 156ha（水田 1, 126ha、畑 30ha）

◆主要工事計画（案） 区画整理

2. 東川町の環境に対する考え方

◆農村環境の現状と課題

《現状》

○東川町は、豊かで雄大な環境をもつ大雪山国立公園の町であり、この田園風景や環境は町民の生活に深く根付いている。

《課題》

- 大雪山国立公園の優れた自然環境の保全。
- 自然との共存に配慮した治山治水対策と持続可能な開発。

※東川町田園環境整備マスタープランより

◆環境保全の基本的な考え方

- ・「次世代に継承する美しい東川の風景づくり」を基本理念とする。
- ・大雪山の雄大な風景と調和する田園景観をつくる。
- ・豊かな自然環境を活用し、発展が持続可能な町をつくる。

3. 環境配慮計画

◆基本方針

地域の環境保全に対する基本方針、森林や水辺環境など稀少な動植物の生息・生育環境及び景観に配慮した整備を行う。

◆取り組み内容

【生態系への配慮】

○工事中における、下流河川や排水路における魚類生息環境に配慮し、濁水流出防止に努める。

○工事区域内に、両性類の卵のう及び個体を確認した場合は、工事区域外の生息に適した場所に移動する。

【景観への配慮】

○用水路のエアーステッキの色彩は、自然景観との調和に配慮した色を採用し、景観の保全に努める。